

「新たなテクノセンターへようこそ」



福井工業高等専門学校
地域連携テクノセンター長

松 井 栄 樹

地域連携テクノセンターは数年前から計画されていた改修について、昨年度に全体の改修を終え、新しく生まれ変わりました。地域の皆様との技術交流、情報交換の場として、新たに地域支援室、地域連携セミナー室を設置するとともに、展示・交流ホールを整備しています。

テクノセンターでは、本校の教員、技術職員がそれぞれの得意とする専門分野により、7つの研究部門に所属して技術相談や事業を行っています。既存の5つの専門学科にとらわれない分野横断的、学際的な組織となっていますので、皆様の多種多様なご相談を伺うことができますと思います。また、各種大型機器についても所有、維持管理しており、これらの設備を利用した技術相談、共同研究が可能となっています。新たなテクノセンターが、本校の教職員の強みと特徴を活かして、積極的に地域の皆様との技術交流、情報交換をする場となり、活気に満ちた産官学の連携活動の場となることを願っています。

とはいえ、私自身は残念ながらこれまでに取り組んできた産官学連携活動から、特筆すべき成果に結びつけることができていません。また、十数年前に高専に着任するにあたり心に決めた、研究環境を整備し、学生に研究を通した技術者教育を行うという目標も、未だ道の途中です。ただ、これらを苦しみながらも継続的に取り組んできた経験は自己を形成する基盤となり、もはや自身そのものともいえる財産でもあります。

では企業や他機関との連携、学生との研究活動について、よりよい方向に導くためには何が必要なのでしょう。私はこれまでの反省も含め、各々の専門能力だけでなく、協同して行う相手との意識、活動方針の一致が非常に重要と感じています。つまりお互いが協同して問題を解決するという強い意志と問題自体の共通した認識であり、お互いを真に必要とする気持ちではないでしょうか。

この「JOINT2020」には、本校教職員が試行錯誤しながら取り組んでいる教育研究に関するシーズが詰まっています。シーズですから、芽は出ているかもしれませんが、まだ大きな花は咲かせていない、これから成長していく技術、ノウハウです。花を咲かせた後は、また別の種をつけるに違いありません。さらに本校では「地域連携アカデミア」という外部組織を立ち上げており、会員になっていただいている学外の様々な方々と、本校教職員や卒業生、学生を引き込んだ連携について模索しながら活動をしています。

この冊子をご覧になり、興味がある事項についてお気軽にお問い合わせいただければ、本校教職員がお話を伺って問題、課題を共有し、真に協同して取り組みます。
新たなテクノセンターに期待を寄せ、お気軽に本校にお越しください。心よりお待ちしております。